

CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO_2021(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 評価パターン	
建物名称	新大阪第3NKビル	階数	地上8F
建設地	大阪府大阪市淀川区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	970 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、駐車場	評価の段階	設計段階(実施設計・施工)評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2022年2月15日
敷地面積	2,150 m ²	作成者	植松 誠
建築面積	1,742 m ²	確認日	2022年2月15日
延床面積	13,540 m ²	確認者	植松 誠



2-1 総合評価

Rank: S 76.3 /100

S ランク: ★★★★★ > 75
 A ランク: ★★★★☆ ≧ 65
 B+ランク: ★★★☆☆ ≧ 50
 B-ランク: ★★☆☆☆ ≧ 40
 C ランク: ★☆☆☆☆ < 40

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 中項目の評価(バーチャート)

基本性能

Qw1 健康性・快適性

Score= 3.5

Qw2 利便性向上

Score= 4.1

Qw3 安全・安心性

Score= 4.8

運用管理

Qw4 運営管理

Score 4.4

プログラム

Qw5 プログラム

Score= 4.0

参考: 知的生産性の視点に基づいた評価

3 設計上の配慮事項

総合
 大阪に建設されるオフィステナントビルの計画である。道路から後退した空地や門型フレームのファサードにより、まちなみに開かれたビルをデザイン。東西2方向からのアクセスが可能なエントランスロビーにはコミュニケーションを誘発するようなスペースを備え、利用者の知的生産性向上に配慮した。CASBEE大阪みらいにおいてもAランク評価と環境にも配慮した建物となっている。

Qw1 健康性・快適性 ・執務空間内に柱がなく開放的執務空間を計画可能。 ・設計床荷重の割増、ペーデューティゾーンを計画。	Qw2 利便性向上 ・ロビー動線上に会話を誘発するような空間を計画。 ・快適で安心なEVを採用	Qw3 安全・安心性 ・建築基準法の1.5倍以上の耐震性能を有している。 ・非常発電機により建物の基幹機能への電力供給可。 ・全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。
Qw4 運営管理 ・防汚性に配慮した材料の採用等。 ・入居者に対する満足度調査を実施する計画としている。 ・AEDの適切な設置計画	Qw5 プログラム ・掲示板によりビルサービスやイベント情報を円滑に周知する計画である。	その他 -